

PRO'S Products

September



わかりやすい異種結合 一見ケータイ、開くとPDA [NOKIA 9210i]

メーカー Nokia
価格 未定
URL www.nokia.com

最近では多くの企業がケータイとPCを複合させ、新商品に仕立て上げようと挑戦している。複合化にも足し算タイプのもとかけ算タイプのものであるが、ノキアが発表したGSM方式の携帯電話「NOKIA 9210i」は明らかに足し算タイプ……というのは外見はふつうのケータイのように見えるが、開くとぎっしりPDAという造り。OSにSymbian社のEPOC OSを採用し、電子メールやウェブはもちろん、ワープロや表計算も備え、Flash PlayerでFlash5にも対応し、さらにRealOne Playerでストリーミング再生も楽しめる。VPN採用でセキュリティ面にも気を配り、オプションでGPSも用意するといった充実ぶり。244グラムと若干重たいが、これだけのものを詰め込んであるわけだから納得できないこともない。それにしても、機能を寄せ集めて統合するより、PDAのカバー部をケータイにしたというこの潔いアプローチ、2匹目のドジョウがいるかどうかはわからないが、少なくとも今回は大成功のようだ。

(今泉 洋 / 武蔵野美術大学デザイン情報学科教授)



複合機能から生まれる旬なデザイン
PalmOS搭載スマートフォン
[kyocera7135]

メーカー Kyocera Wireless Corp.

価格 未定

URL www.kyocera-wireless.com

重量186グラムと、これまでに発表されたPalmOS搭載ハイブリッドタイプに比べて大幅に軽量化されたCDMA2000 1x対応のハイブリッドスマートフォン。GPSを搭載し、スピーカーフォンや音声によるダイヤル、Eudoraメール、ウェブアクセスも可能で、MMCやSDといったカード規格にも対応という仕様だ。最近、どこでもケイタイのデザインがひどい、という話をよく聞く。かつて、終末を迎えたころのラジカセを思わせる様相、とか。しかしスマートフォンの普及はまだこれから。新しい機能が出た当初は、カタチとの微妙なバランスを取りながらマーケットに仕かけるべきポジションを獲得するためのデザインの模索が続く。デザイン的にはこの時期が一番面白い。現にこのプロダクトもテクノロジーのてんこ盛り状態だが、それでも機能統合を果たそうとするデザインにはハナマルをあげてもいいかもしれない。
(今泉 洋)



オフィス環境を持ち歩く
WindowsXP、UNIX、Linuxに対応するハンドヘルド
[Tiqit eightythree]

メーカー Tiqit Computers Inc.

価格 1,000 ~ 1,500US\$ (2002年第4四半期発売予定)

URL www.tiqit.com

米国ではオフィスや家庭、それに外出時と、場所に応じてパソコンとPDAを使い分けるケースが増えているが、パソコンとPDAの互換性や使い勝手の問題に悩んでいるユーザーも多いという。だったらPDAサイズで本格的なパソコンを作ってしまう……ということ、最近米国では多くのベンチャー企業がこの領域に進出している。「歩きながら使える、デスクトップ並みの本格的PC」と豪語するTiqit社の「eightythree」もその1つ。15cm x 10cm x 2.8cmというサイズ、バッテリー込みで567グラムながら最大20GBまでのハードディスク、56キーのキーボードとタッチスクリーン、親指操作ジョイスティック、PCMカードやUSB、IrDAと一通りの装備を備える。4インチの640 x 480TFTスクリーンは日本語表示にはちょっとつらいが、英語なら十分。しかしこのマシンの目玉はWindowsXPのみならずLinuxとUNIXという複数のOSに対応していること。ここまでやればまさに持ち歩けるオフィス環境?
(今泉 洋)

こだわりの音質
多チャンネルスピーカーをヘッドホンに
[デジタルコードレス サラウンドヘッドホン]

Photo : Murayama Sinori

メーカー パイオニア

価格 オープン価格 (実売50,000円前後)

URL www.pioneer.co.jp

ホームシアターを設置しようにも、住居環境や視聴時間帯の問題で、大きな音をたてるのが難しい貴人には、そんな環境でもドルビーサラウンドを楽しめる、ドルビーヘッドフォンなるものがあるのだ。音の反射成分を合成することで、多チャンネルスピーカーと同等の成分を左右の耳で聞くことができ、長時間の使用でも圧迫感を感じることがない。デジタル赤外線伝送を使ったワイヤレス再生だから煩わしさもなく、ヘッドホンの複数使用もできる(オプション)。それから、装着すると自動的に電源がONになる機能を備えているのが喜ばしい。

(クワクポリョウタ / デバイスアーティスト)



PRO'S Products
September



将来を見通す双眼鏡？
GPSによる位置情報サービス端末
[GlassNavi]

メーカー NEC
価格 未定
URL www.nec-design.co.jp/showcase/

NECデザインの提案するGPSを使った位置情報サービス。検索した場所をレーダー型のディスプレイで選び、その方向をのぞくと実際の景色にオーバーレイするかたちで情報が表示される。さらにズームアップするにつれて詳細情報が見られるというもの。双眼鏡スタイルの機器は52インチ相当の大画面表示が可能というから、一時期注目された眼鏡型テレビを思い出す。あちらは常時使用していると健康に影響が出そうだったが、こういうテンポラリーな利用ならそんな心配はなさそうだ。それにしても、まずは現在地についての情報が得られるだけでも便利だと思うが、なぜ双眼鏡をのぞいてまで遠隔地の情報を“望遠”するんだろう？ デザインはファンシーだが実はミリタリーコース？ いや、プロトタイプデザインは、至近の瑣事より将来を見通すものなのだという社会へのメッセージだと受け取っておこう。
(今泉 洋)



歯に埋め込まれた 極小の振動装置とワイヤレス受信機
[Audio Tooth]

開発元 ジミー・ロウゾー氏とジェイムズ・オーガー氏
(MITメディアラボ・ヨーロッパの研究者)
価格 未定
URL www.sciencemuseum.org.uk

歯の形をしたインプラント式の音声再生装置。義歯に内蔵された回路は外部の専用装置から送られた信号を振動に変換し、頭骨を伝わって音として再生される(サイレントシャウトという、音がするキャンディーと多分同じ原理)。再生音は外部に漏れることがないというから、人知れず秘密の情報を受信することができるというわけだ。現時点ではコンセプトモデルの提示ではあるが、こういうアイデアをまじめに実行しようとしている人がいるのだ。人の未来に対する期待と、幾ばくかの懸念とを同時に感じさせる、インパクトのある発明だ。
(クワクポリョウタ)

仮想音源技術を使った小型スピーカー
ブックサイドオーディオ
[pluplu]

Photo : Murayama Sinori

メーカー ビンチェンジ

価格 未定

URL www.p-change.com

一見してカイワレ大根?と思わせる「pluplu」は、本棚の間などに置くことができるコンパクトなオーディオ装置だ。3Dサウンド技術を駆使し、「近接したスピーカー配置で、5.1chの臨場感を実現(プレスリリースより)とのこと。オーディオソースは、DIMAGIC社の提供する最新音響信号処理理論に基づくアルゴリズムの開発によって、DSP(デジタル信号処理プロセッサー)を用いた、高品質でクリアな音像定位を提供する新しい仮想音源処理技術を採用。ネットワーク対応も計画されていて「電源コードのみの簡単接続」というから、無線LANを使用するのだろう。9月に商品化が予定されているが、芳香剤や学研の教材を思わせるチープでかわいらしいプロトタイプのリックスは是非とも維持してほしい。パール色とか入れないでくれたら僕は買います! (クワクポリョウタ)





掲示板でなく音声で楽しむ
IPv6を使ったチャットテクノロジー
[音声チャットノード]

Photo : Murayama Sinori

開発元 インターネットノード
価格 未定
URL www.i-node.co.jp

IPの枯渇や双方向性を解決すべく進められているIPv6のアプリケーションとして開発された、音声チャットノード。読んで字の如く、音声によるチャットを可能にするものだ。あくまでもチャットなので、普通の電話とは違って次々に流れてくるメッセージを応えるも聞き流すも自由だし、メッセージを繰り返して再生したり、さかのぼって再生することも可能である。サーバーなしでこのようなことが可能なのは、一意的にユーザーを特定できるIPv6ならではの芸当だ。メーカーでは携帯やe-mailなどのオンデマンドなコミュニケーションに慣れ親しんだ若者層をターゲットにしているが、こうしたプロダクトはむしろ一人暮らしのお年寄りにこそ求められるものではないだろうか。(クワクポリョウタ)



情報機器の新カテゴリー創出なるか
富士通のタブレットPC
[Stylistic ST4000]

メーカー 富士通
価格 未定
URL www.fujitsu.co.jp

いち早く対応を発表した企業、模倣眺めや不参加を表明した企業まで、マイクロソフトの新提案WindowsXP Tablet PCをめぐる動きはさまざま。マイクロソフトの提案を単にPCにタブレットを付加したものとする企業が多い中、富士通はデジタルインクや手書き文字認識機能に無線接続など新世代のテクノロジーを統合し、従来のPCとは一線を画した新たな情報機器のコンセプト実現を目指している。Stylistic ST4000 タブレットPCは、タブレット Dockと無線接続のキーボードを組み合わせながら、1台でデスクトップPC、ノートPC、ノートパッドの3種類のスタイルを実現し、従来のPCとは別のマーケット開拓を目指す……。とは言うものの通常の利用スタイルだと、あえて新たな使い勝手を覚えるだけのメリットがあるかどうか。本格的な市場開拓にはこの環境を生かした新しいキラーアプリの登場が待たれるところだ。(今泉 洋)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp